



東京工芸大学
学生支援センター<HOME>発行
2019年1月
第29号

TODAY'S TOPIC

授業課題を振り返る

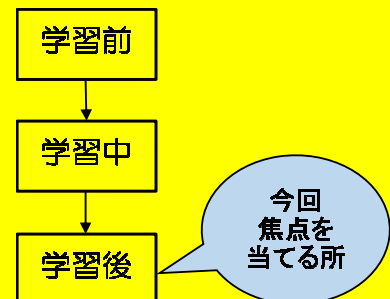
—自己調整学習の観点から—

2018年度のHome Letterでは、授業課題への取り組み方の工夫について、心理学における自己調整学習の観点から紹介をしています。第27号は「授業課題を始める前」を、第28号は「授業課題を終わらせる」ことを主なテーマとしました。今回は「授業課題を振り返る」際の工夫について紹介します。

自己調整学習とは

自己調整学習とは、簡単に言えば「**目標に向かってやり方等を工夫しながら能動的に学習を進めていくこと**」です。

自己調整学習に関する研究では、学習前・学習中・学習後の各段階の工夫を探求しています。今回は「**学習後**」に焦点を当て、授業課題を提出した後に振り返るポイントを紹介します。



授業の課題は、提出してしまったら「**自分にとって終わったもの**」等と認識されることが多いと思います。逆に言えば、自分の中で一段落ついたからこそ、授業課題やそれに取り組んだ自分をより冷静に見られる状態です。**提出後に授業課題を振り返ることは、自分を高める機会となります。**

成長のための振り返り

反省と振り返りは違います。反省は、同じ失敗を繰り返さないために、主に自分の至らないところを見出す行為です。**振り返りは、経験したことを様々な観点から見返して、自分の改善点を見出したり、物事の理解を深めたりする等、自身の成長のために行います。**振り返りは反省と比べ、より前向きな行為です。

授業課題の3要素

授業課題とは、授業の中での学習内容を基に、提示されたテーマに対して自分なりに考え、制作物としてまとめあげたものです。つまり、どのような授業課題であっても、「**①学習内容**」「**②取り組み過程**」「**③制作物**」という3つの要素から構成されています。

①学習内容の振り返り

学習した内容を定着したり、理解を深めたりするために振り返ります。これは、いわゆる「復習」というものです。知ったことや行ったことは時間が経てば、忘れてしまうもの。そのため、「時々、授業資料やノートを読み返す」や「作品作りで用いた PC ソフトに触れる機会を定期的に設ける」等して、学習を定着させましょう。そのような復習の中で、「今考えてみれば〇〇ってこういうことだったんだ！」等、学んだ内容についてより理解を深めることもあります。いつでも振り返れるように常にテキスト、ノート、資料を整理しておくとお後悔がありません。授業に関連するデータは頻繁にバックアップすることも重要です。



②取り組み過程の振り返り



より自分に合った取り組み方を見出すために振り返ります。課題の取り組み方は人それぞれです。例えば、「じっくり考えた後に作業に取り掛かるタイプ」もいれば、「手を動かしながら考えるタイプ」もあります。どんなタイプがあっても良いですが、他の重要なことを犠牲にして無茶することが多ければ、要注意！例えば、締め切り前に焦って徹夜が続くと、健康を犠牲にします。そのため、徹夜しなくても提出できる等、無理なくかつ効率的に取り組めるためにはどのような工夫が必要かを考えてみましょう。

③制作物の振り返り

時間をかけて書いたレポートや作った作品は、あなたの学生生活の財産です。満足の出来た時にはもちろん、例え不十分だったとしてもアイデアと労力が詰まったものです。そのような宝物は、提出する前にコピーしたり、データとして保存したりして残しておきましょう。また、先生や周囲等からのフィードバックも書きとめて、一緒に残しておくとも良いです。

制作物を保存し見返すことで、ポートフォリオ等、自分の履歴として役立つ可能性があったり、他の課題のアイデアの種が生まれたりすることがあります。そのため、時折、これまでの制作物を見返すのも良い機会となるでしょう。

主な参考文献:L・B・ニルソン(美馬のゆり・伊藤崇達監訳) 2017 学生を自己調整学習者に育てる. 北大路書房.

学生支援センター<HOME>

月～金 10:00-11:30/12:30-17:00

厚木キャンパス 13号館1階

046-242-9939(直通)

<http://www.hm.t-kougei.ac.jp/>

サポートルーム

男性・女性カウンセラーに学修、人間関係、進路、性格など、どのようなことでも相談可。

コートヤード

食事、休憩、雑談、読書、自習など、相談がなくても利用できるフリースペース。